

# 令和4年度分科研究費公募における種目別支援の違い

\* 令和4年度公募から公募開始時期が変更になることに伴いアドバイザーチェックの対象が変わります\*

種目名	公募開始	学内締切		
		アドバイザー	事務チェック	U R A
特別推進研究、 基盤研究（S・A）	公募中	なし	8月23日（月）	随時
国際共同研究強化（A）	公募中	なし	8月23日（月）	
基盤研究（B・C）、 若手研究、 挑戦的研究	8月2日（月）	9月8日（水）	9月15日（水）	
学術変革領域研究（A） （総括班・計画研究）	8月下旬	なし	9月下旬 （予定）	
学術変革領域研究（B）	8月下旬	なし	9月下旬 （予定）	
新学術領域研究 （公募研究）	8月下旬	なし	9月下旬 （予定）	
学術変革領域研究（A） （公募研究）	11月下旬	なし	未定	
研究成果公開促進費 （学術図書・ ひらめきときめき等）	8月2日（月）	なし	9月21日（火）	
奨励研究	8月2日（月）	なし	9月21日（火）	

**※どの種目も学内締切を過ぎても応募を受け付けますが、上記「事務点検」の期日を過ぎた場合は、詳細な事務点検を行えません。また、最低限の事務点検を行わないで学振に提出をすることはできません。学振提出期限ギリギリにご提出いただいた場合は、応募を受け付けないことがありますのでご了承ください。**

# 令和4年度分 科研費（基盤B・C・若手・挑戦） 応募手続きの流れ

2021.8.2 研究推進課

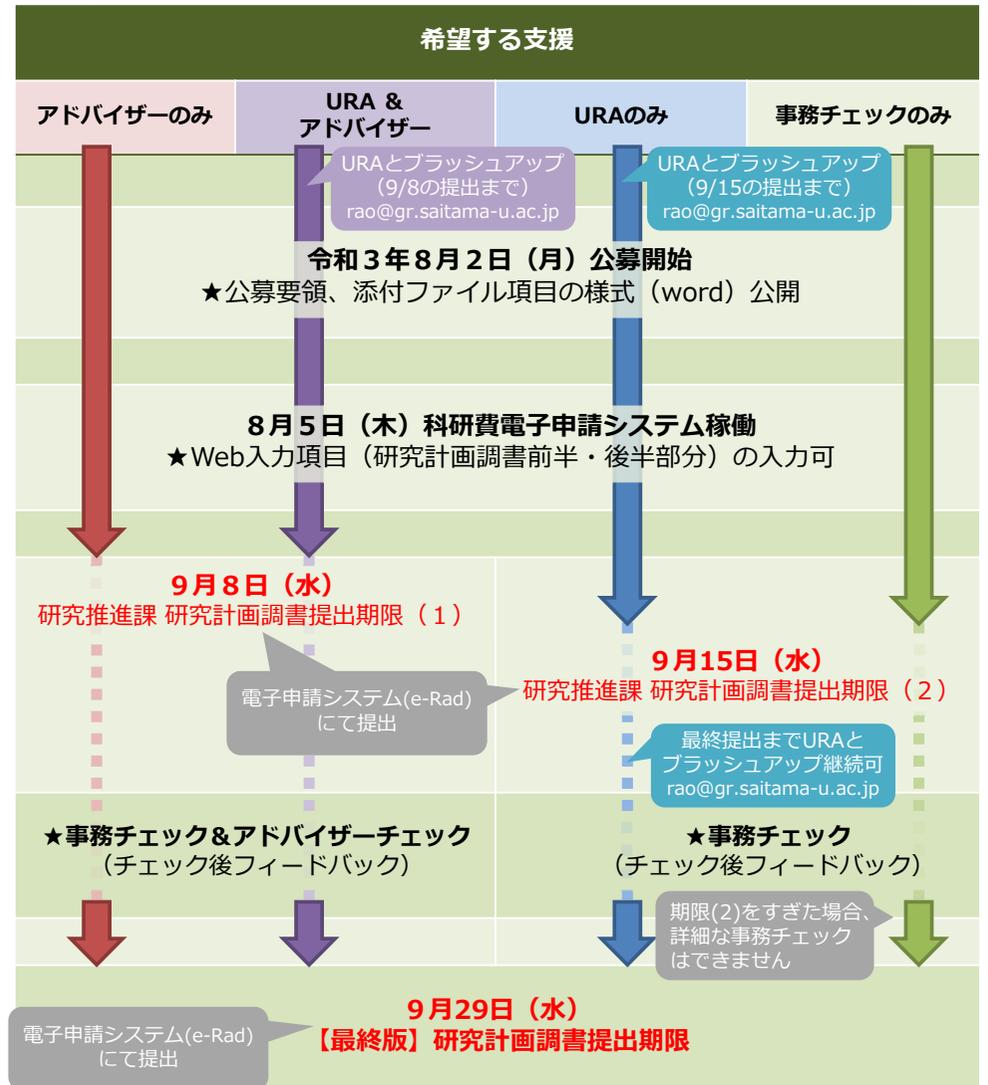
1 8月2日～	<p><b>研究計画調書中間部分   添付ファイル項目作成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 日本学術振興会ホームページ (<a href="http://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/index.html">http://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/index.html</a>) から添付ファイル項目の様式(Word)をダウンロードし、作成する。</li> <li>※ <b>毎年度添付ファイル項目の様式が変更されています。</b></li> <li>応募の際は、必ず学振HPから最新の様式をダウンロードしてください。</li> <li>※ <b>審査資料はグレースケール印刷されます。</b> カラーで作成する場合はご注意ください。</li> </ul>
2	<p><b>研究計画調書前半・後半部分   Web入力項目（応募情報）の入力</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 科研費電子申請システムにログインし、必要情報を入力する。</li> <li>※ e-RadのID/PWが必要です。忘れてしまった場合はログイン情報リセット（パスワード再発行）を行いますので研究推進課までご連絡ください。</li> <li>※ ログイン情報リセットを行った場合、再発行したID/PWで科研費電子申請システムにログインできるようになるまで30分～1時間程度かかります。</li> </ul>
3	<p><b>提出</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 科研費電子申請システムの応募情報画面に添付ファイル項目をアップロードし、「処理状況一覧」の「応募状況」が「所属研究機関受付中」になるまで送信処理を進める。 <b>（紙媒体の提出は不要）</b></li> <li>● 下記提出期限に合わせた支援を行います。<b>（2）の期限を過ぎた後も提出は可能ですが、詳細な事務チェックができないのでご承知おきください。</b></li> </ul> <p><b>【提出期限】</b></p> <p>(1) <b>9月8日(水)</b> アドバイザーチェック希望者</p> <p>(2) <b>9月15日(水)</b> アドバイザーチェック希望者以外</p> <p>ご提出いただいた研究計画調書の確認をします。</p>
要修正	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 研究推進課が朱書き（注釈）を入れた研究計画調書をメールで返送します。電子申請システムも修正可能な状態に戻ります。</li> <li>● 研究計画調書（修正版）を電子申請システムで再送信し、研究推進課宛てにメール (<a href="mailto:kaken@gr.saitama-u.ac.jp">kaken@gr.saitama-u.ac.jp</a>) で連絡してください。</li> </ul>
修正不要	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 研究推進課から修正完了メールを送信します。これで修正作業は終了です。</li> </ul> <p>※この後も、学振へ提出するまでの間は研究計画調書の修正が可能です。ご希望の方は研究推進課までご連絡ください。</p>
応募に関する 注意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 常勤教職員以外の者が応募する場合、事前に応募資格の認定を受ける必要があります。お早めに所属部局へお問い合わせください。</li> <li>● 研究分担者を組織に加える場合は、研究代表者は科研費電子申請システムを通じて研究分担者・所属機関担当者から分担者承諾を得てください。<b>分担者及び所属機関担当者の承諾が完了しないと学振に提出することができないのでご注意ください。</b></li> </ul>

お問い合わせ先 | 研究推進課 [kaken@gr.saitama-u.ac.jp](mailto:kaken@gr.saitama-u.ac.jp)

## 希望する支援と研究計画調書の提出期限の関係性 （基盤B・C・若手・挑戦の場合）

URAは、公募開始前から研究計画調書作成にあたり、複数回やりとりを行うことで、ブラッシュアップし、採択に近づく計画調書になるよう支援します。  
アドバイザーは、完成した計画調書を審査委員の目線で確認し、アドバイスします。

**★希望する支援によって、提出期限が異なりますのでご注意ください。**



## (参考) 応募書類作成上のよくある指摘事項

事務点検をしていて、気になったところとしてよく挙げられる点をまとめてみましたので、作成の際はこのような点に気をつけていただければと思います。

### (1) 添付する様式が違う

作成するwordファイルが昨年度のものだった、他の種目のものだった、そういったことが散見されますので、必ず令和4年度分の様式をダウンロードして作成してください。

**！特に今年度は様式が大きく変更されています！**

### (2) 余白を無視している

図や文章をたくさん入れようとして指定された余白を守らずにページいっぱいで作成すると、審査資料として作成される際に切れてしまう可能性があります。当初の設定から余白は変更しないでください。

### (3) 図のキャプションの番号が本文中に出てくる図の番号と一致していない

研究計画調書の図は図1～図5までしかないのに、本文中に「図6」が記載されているようなことも散見されます。提出の前にご確認いただければと思います。

### (4) カラーで作成していて、白黒にすると違いがわからない

審査資料はグレースケール化されますので、グラフや表の凡例等を色により区別している場合は判別可能かご確認ください。

### (5) ヘッダーがずれている

word内の右上のヘッダーが「基盤研究(C)(一般) 1」の次に「基盤研究(C)(一般) 3」のように飛んでいたり、【1 研究目的、研究方法など(つづき)】等の項目部分が合っていないことがあります。ご提出の前に今一度ご確認ください。

様式S-12 研究計画調書(添付ファイル項目) 基盤研究(A)(一般) 1

← この部分です

1 研究目的、研究方法など

1 ページ目の(概要)、(本文)も削除しないでください

研究計画調書作成に当たって留意すること

留意事項①

1. 以下の内容を熟読・理解の上、研究計画調書を作成すること。

### \* システム使用における注意点 \*

システム使用の際、以下のことはシステムが正常に作動しなくなる場合があるので絶対に行わないでください。

- ・複数のウィンドウやタブで操作すること
- ・ブラウザの[戻る]ボタンや[BackSpace]キー等を使用して前画面に戻ろうとすること